

BNYメロン・ リアル・リターン・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

BNY MELLON REAL RETURN FUND

■ 設定・運用は



BNY MELLON

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第406号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの特色

主として世界の株式、債券、通貨等を実質的な投資対象とし、様々な投資環境に柔軟に対応しながら中長期的に米ドルベースで絶対収益の追求*1を目指して運用を行います。

*1 絶対収益の追求とは、市場の変動に左右されないで収益を追求するという意味で、必ず収益を得るという意味ではありません。実質的な運用は、アイルランド籍外国投資信託である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)」を通じて行います。

BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)において、米ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、現地通貨売り/米ドル買い等の為替取引を行うことがあります。

Aコース(為替ヘッジあり)とBコース(為替ヘッジなし)の2つのコースからお選びいただけます。

Aコース(為替ヘッジあり)は、原則として米ドルに対して為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。Bコース(為替ヘッジなし)は、原則として米ドルに対して為替ヘッジを行いません。

実質的な運用は、BNYメロン・グループ傘下の資産運用会社である、「ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッド(以下、ニュートン)」が行います。

ニュートンの「リアル・リターン戦略」とは

2008年の金融危機時においてもプラスのリターンを挙げた、英国屈指の投資戦略

振れ幅の大きな時代に求められる 新たな投資戦略

ニュートンは資産配分を機動的に変更することで、市場調整時に柔軟に対応することを目指します。

ニュートンの旗艦ファンド

2015年9月末時点におけるニュートン・リアル・リターン戦略*2の運用資産残高は約2兆2,560億円*3であり、欧州でも屈指の規模となっています。

絶対収益型ファンドとして英国で トップクラスの販売額

英国における2014年のファンド販売純増額ランキングで、ニュートン・リアル・リターン・ファンドは絶対収益型部門第3位*4となっています。

暦年ベース運用実績は、 運用開始以来すべてプラス

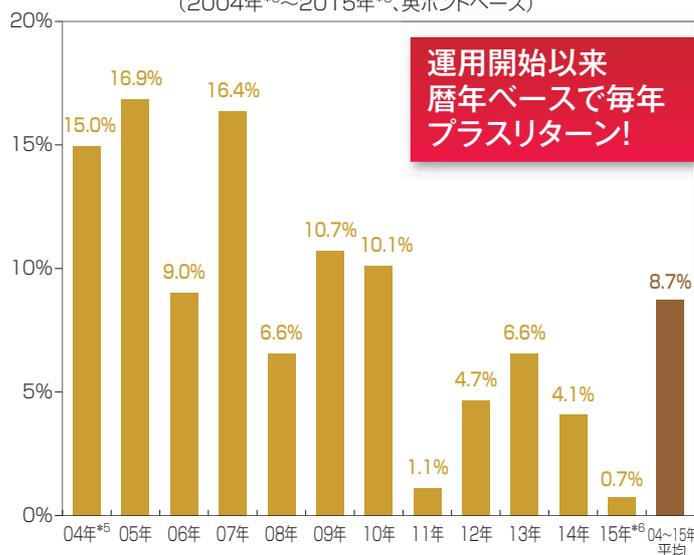
ニュートン・リアル・リターン戦略の暦年ベース運用実績は、2004年3月の運用開始以来、すべてプラスリターンとなっています。

*2ニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットを指します。同コンポジットの詳細は2ページをご参照ください。

*3当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いたニュートン・リアル・リターン戦略で運用するドル建て、ユーロ建て、ポンド建てファンド等の合計です。

*4The Investment Associationのデータ

ニュートン・リアル・リターン戦略の暦年パフォーマンス
(2004年*5~2015年*6、英ポンドベース)



運用開始以来
暦年ベースで毎年
プラスリターン!

上記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。同コンポジットは当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

*52004年は3月末~12月末 *62015年は9月末までのリターン

出所:ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

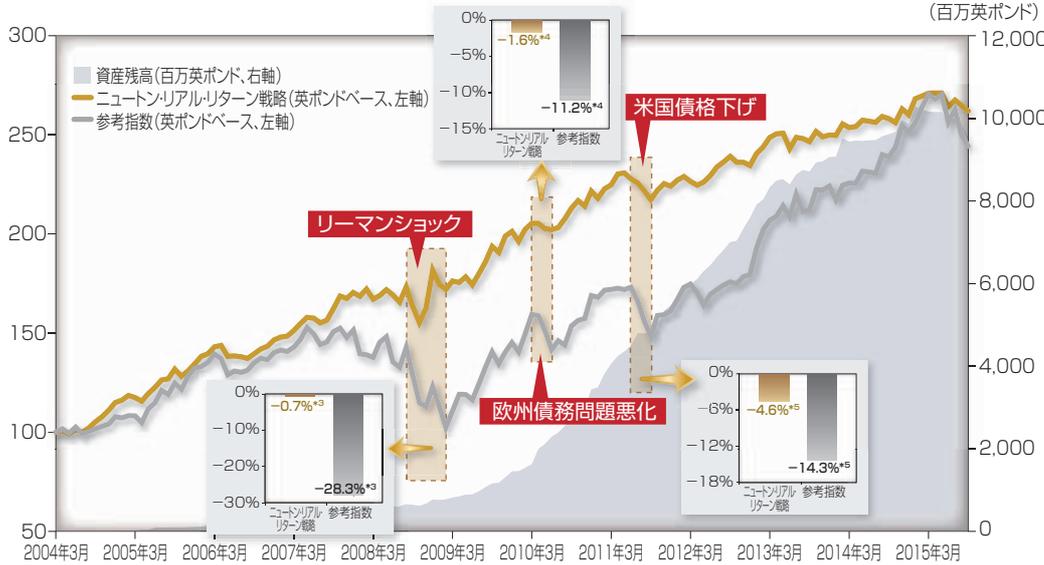
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。また、当ファンドの運用実績とは異なります。当ファンドの運用成果を保証または示唆するものではありません。

「ニュートン・リアル・リターン戦略*1」

ご参考:運用実績および資産残高(コンポジット*2の実績)

リーマンショックなどの金融危機時においても
下落リスクを低減し、中長期的な絶対収益を追求

(期間:2004年3月末~2015年9月末) ※ニュートン・リアル・リターン戦略および参考指数については、2004年3月末を100として指数化。



「ニュートン・リアル・リターン戦略」コンポジットは、当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いて運用する英ポンド建てファンドおよび英ポンド建て個別口座全てのポートフォリオから構成されます。
運用実績は、運用報酬および手数料等控除前、配当・利子等再投資ベースです。
*2コンポジット(Composite:合成を意味する英語)とは、運用パフォーマンス測定のために複数のファンド等を加重平均してまとめたものをいいます。

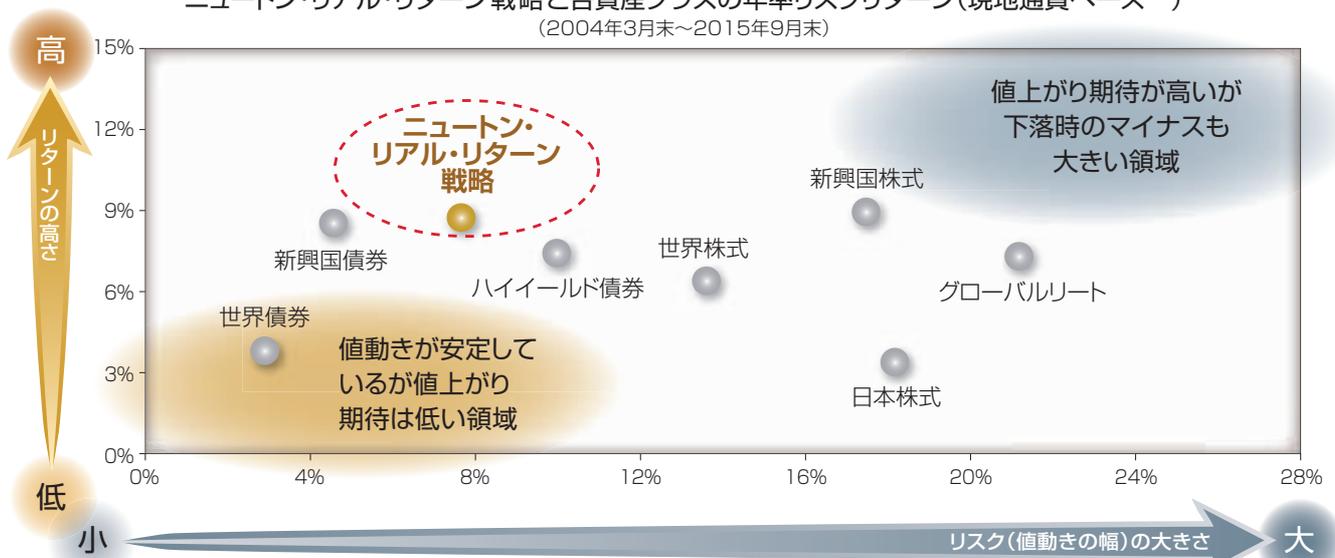
上記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。同コンポジットは当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

参考指数:MSCIワールド指数(配当込み、英ポンドベース)
*1ニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットを指します。*32008年8月末~2009年2月末、*42010年3月末~6月末、*52011年6月末~9月末の各リターン(月次ベース)
出所:ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。また、当ファンドの運用実績とは異なります。当ファンドの運用成果を保証または示唆するものではありません。

値動きの振れ幅を抑えた安定運用

世界株式やハイイールド債券よりも低いリスクで
高いリターンを示すニュートン・リアル・リターン戦略

ニュートン・リアル・リターン戦略と各資産クラスの年率リスクリターン(現地通貨ベース*6)
(2004年3月末~2015年9月末)



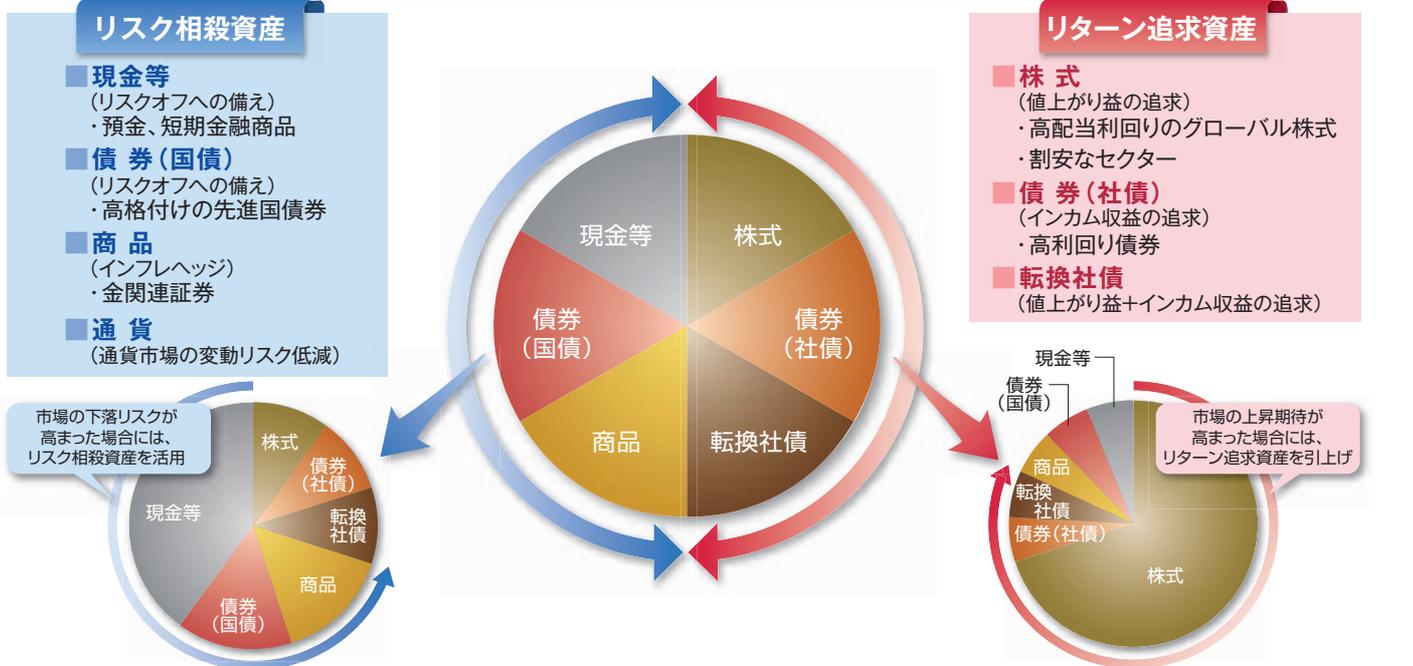
上記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。同コンポジットは当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。

*6グローバルリートのみ米ドルベースを使用。
世界株式:MSCIワールド指数(配当込み)、日本株式:東証株価指数(配当込み)、新興国株式:MSCIエマージング・マーケット指数(配当込み)、グローバルリート:S&Pグローバルリート指数(配当込み)、世界債券:シティ世界国債指数、ハイイールド債券:BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド指数、新興国債券:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド指数
出所:ニュートン、ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。また、当ファンドの運用実績とは異なります。当ファンドの運用成果を保証または示唆するものではありません。

ニュートン・リアル・リターン戦略のポイント

■「リターン追求資産」と資産安定化を目的とした「リスク相殺資産」を幅広くカバーすることにより、中長期的に安定したリターンを追求します。

リターン追求資産とリスク相殺資産をカバーした幅広い資産クラスに投資

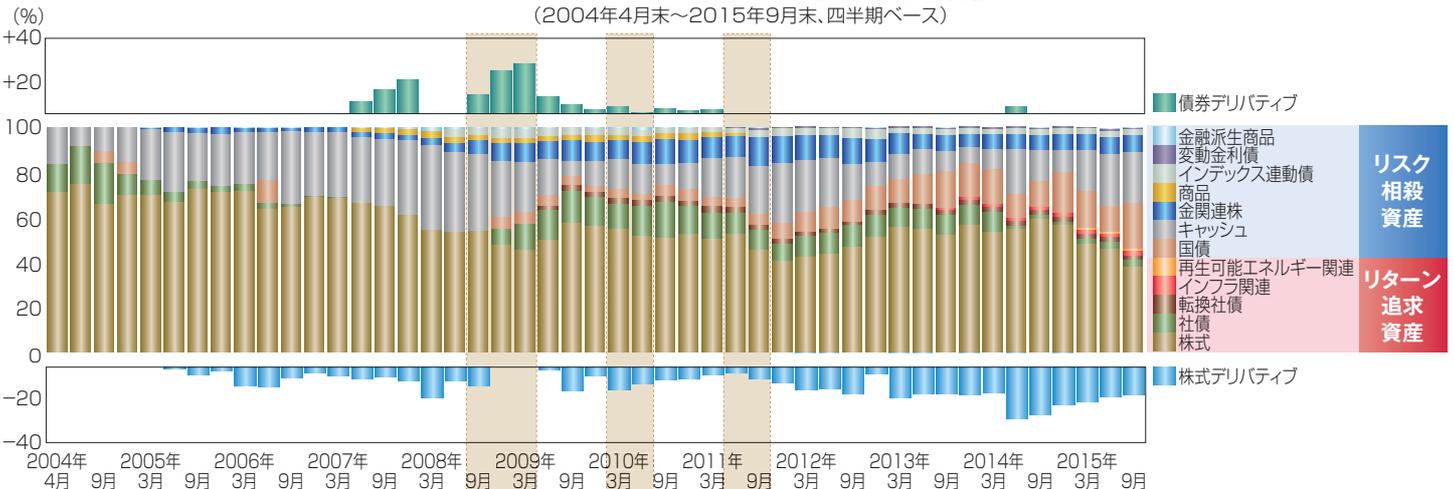


※上記はニュートン・リアル・リターン戦略の資産配分をイメージしたもので、ファンドの実際の資産配分ではありません。上記は投資戦略に関する説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。「リターン追求資産」「リスク相殺資産」と定義づけられる資産は、資金動向、市場動向等によって変化します。また、将来の投資成果を保証または示唆するものではありません。資金動向、市場動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

安定運用を実現する機動的な資産配分

■資産配分変更やリスク調整面における高い柔軟性を持つことで、市場調整時に対応できる機動的な資産配分の実現を目指します。

ニュートン・リアル・リターン戦略の資産配分推移
(2004年4月末～2015年9月末、四半期ベース)



- ①リーマンショック
世界的な景気後退懸念が高まる中、株式比率を低位に維持しつつ、債券(国債、社債、デリバティブ)の比率を引上げ。
- ②欧州債務問題悪化
ギリシャの財政問題悪化などで不透明感が強まる中、株式ヘッジを維持するとともに、金関連株の比率を引上げ。
- ③米国価格下げ
世界的な景気後退懸念が高まる中、株式比率を引下げ、キャッシュ比率を引上げ。

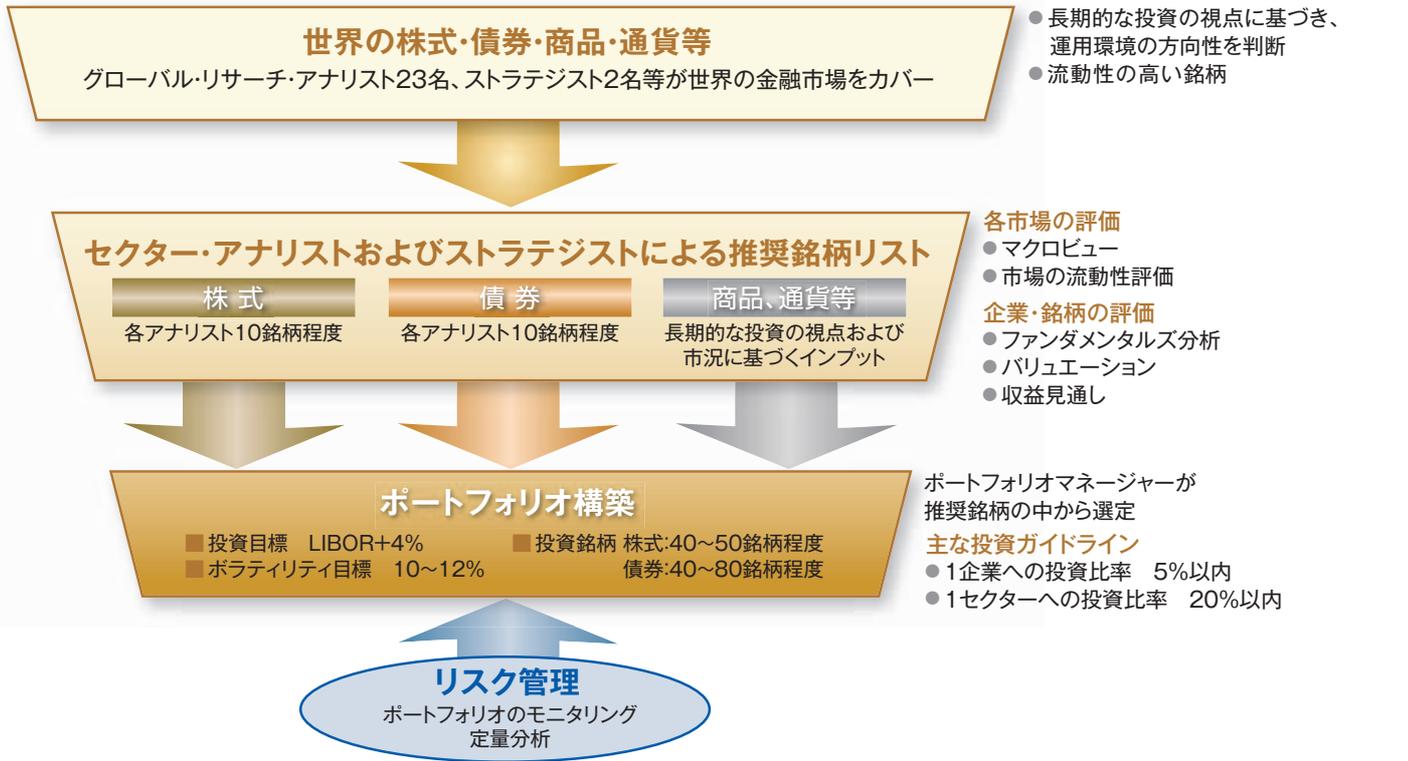
各金融危機時におけるパフォーマンス	① ニュートンリアルリターン戦略 -0.7%*1 参考指数 -28.3%*1	② ニュートンリアルリターン戦略 -1.6%*2 参考指数 -11.2%*2	③ ニュートンリアルリターン戦略 -4.6%*3 参考指数 -14.3%*3
-------------------	---	---	---

上記はニュートン・リアル・リターン戦略のコンピジットを構成するファンドおよび口座の中で最大の規模を有する口座の資産配分です。下記は当ファンドの主要投資対象であるBNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンドと同様の運用プロセスを用いていますが、当ファンドの資産配分とは異なります。

参考指数:MSCIワールド指数(配当込み、英ポンドベース)
*1 2008年8月末～2009年2月末、*2 2010年3月末～6月末、*3 2011年6月末～9月末の各リターン(月次ベース)
出所:ニュートン・ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社作成
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。また、当ファンドの運用実績とは異なります。当ファンドの運用成果を保証または示唆するものではありません。

ニュートンの運用プロセス

■ グローバル運用の経験豊富な運用チーム全体からもたらされる投資アイデアに基づき、規律ある運用を行います。



出所:ニュートンの情報を基にBNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成、2015年9月末時点

ご参考:主要投資対象ファンドの資産配分等(2015年9月末時点)

■ ポートフォリオの資産構成比率(2015年9月末時点)

リスク相殺資産	
国債	19.8%
キャッシュ等	24.6%
金関連株	3.0%
商品	4.3%
インデックス連動債	2.5%
変動金利債等	0.7%
リターン追求資産	
株式(①)	37.8%
社債	2.8%
転換社債	2.0%
インフラ関連(ファンド)	1.6%
再生可能エネルギー関連(ファンド)	1.0%
合計	100.0%
株式先物/株価指数オプション等(②)*	-14.7%
債券先物/債券先物オプション等*	0.0%
株式実質比率(①+②)	23.1%

■ 株式の国・地域別配分(%)

欧州(除く英国)	12.4
北米	13.6
英国	7.4
アジア・パシフィック(日本除く)	1.4
日本	2.7
その他	0.2
株式合計	37.8

■ 債券の国・地域別配分(%)

米国	14.2
英国	2.7
欧州(除く英国)	0.5
アジア・パシフィック(日本除く)	7.4
その他	0.3
債券合計	25.1

■ 通貨配分(%)

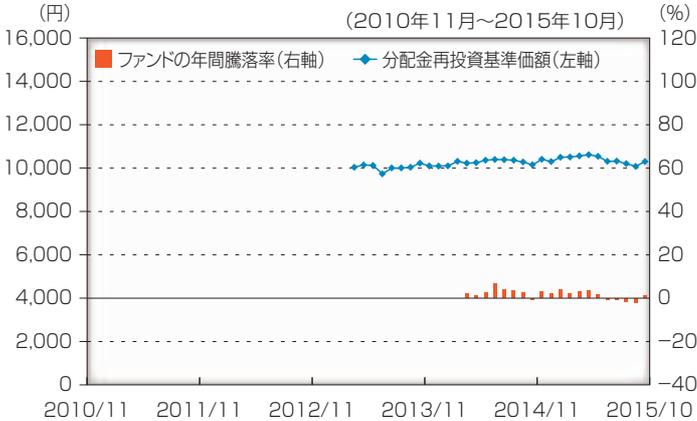
米ドル	103.9
アジア・パシフィック通貨(日本円除く)	-1.9
欧州通貨(除くユーロ、英国)	6.6
英ポンド	-6.0
日本円	2.7
その他	-0.4
ユーロ	-4.9
通貨合計	100.0

※資産構成比率は、当ファンドの実質的な運用会社であるニュートンの判断による一定の資産区分基準に基づいた参考値です。なお、資産区分の基準は今後変更となる可能性があります。
 ※資産構成比率、通貨配分、国・地域別配分は、投資対象ファンドのBNY Mellon・グローバル・リアル・リターン・ファンド(米ドル建て)の純資産総額を100%として計算した値です。
 ※資産構成比率の金関連株には、貴金属関連株も含まれます。
 ※資産構成比率の国債には、州債等の公債も含まれます。
 ※株式の国・地域別配分には金関連株は含まれません。
 ※債券の国・地域別配分には、国債、インデックス連動債、社債が含まれます。
 ※配分表は小数点以下第2位を四捨五入しているため、足し合わせても、合計と一致しないことがあります。
 ※資産構成比率の株式先物/株価指数オプション等及び、債券先物/債券先物オプション等の値は、オプション等の価格変動額と対象とする原資産の価格変動額の比率を基に原資産に換算した金額の比率になります。(主要対象ファンドの実質的な運用会社であるニュートン社が一定の基準で算出)

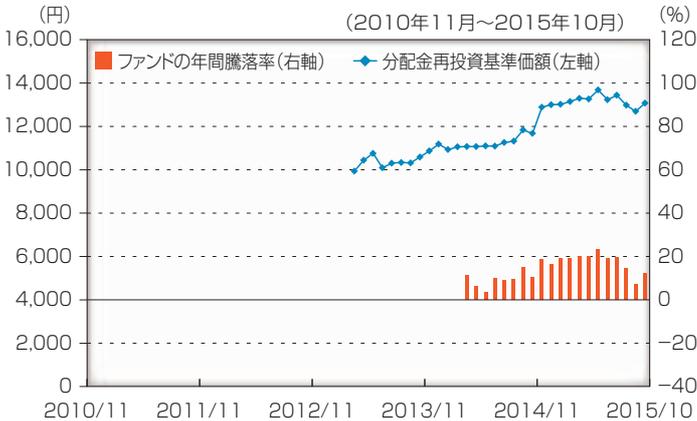
参考情報

当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

[Aコース(為替ヘッジあり)]

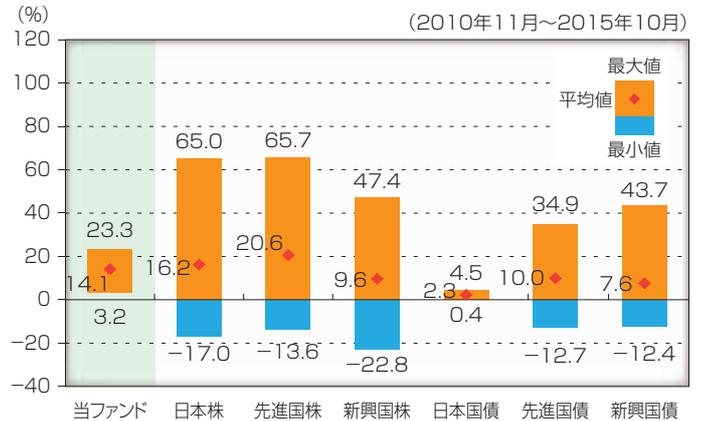
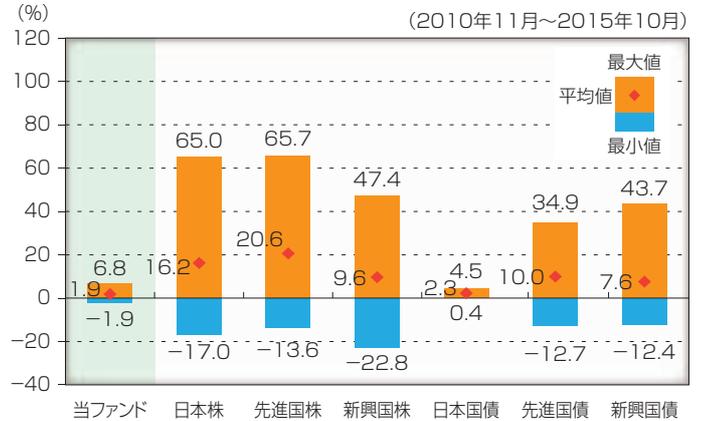


[Bコース(為替ヘッジなし)]



当ファンドと代表的な資産クラス*との騰落率の比較

グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



*年間騰落率は、2014年3月～2015年10月(当ファンドの設定日は、2013年3月22日です。)の各月末における直近1年間の騰落率を示しています。

*年間騰落率は、税引き前収益分配金を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。また、分配金再投資基準価額は、税引き前収益分配金を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。

*グラフは、2010年11月～2015年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

なお、当ファンドについては、設定日が2013年3月22日のため、2014年3月～2015年10月の数値であり、単純な比較はできません。当ファンドについては、税引き前収益分配金を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所市場第一部に上場する全ての日本企業(内国普通株式全銘柄)を対象として算出した株価指数で、配当を考慮したものです。

先進国株 MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が算出・公表している、日本を除く先進国の株式を対象として算出されたグローバルな株価指数で、配当を考慮したものです。

新興国株 MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc. が算出・公表している、世界の新興国の株式を対象として算出された株価指数で、配当を考慮したものです。

日本国債 NOMURA-BPI 国債

野村証券株式会社が算出・公表している、日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。

先進国債 シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし、円ベース)

Citigroup Index LLC が算出・公表している債券インデックスで、日本を除く世界の主要国の国債の価格と利息収入を合わせた総合投資収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

新興国債 JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

J.P.Morgan Securities LLC が算出・公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした、時価総額ベースの指数です。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

上記各指数の騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。

株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

BNYメロン・グループ傘下の運用会社、ニュートン



- ニュートンは、BNYメロン・グループ傘下の運用会社で、グローバルなマルチ・アセット、株式、債券のスペシャリストです。
- ニュートンの総運用資産は、2015年9月末時点で684億米ドル(約8兆円*1)となっています。
- ニュートンは欧州で高い評価を受けており、フィナンシャル・タイムズなど著名な経済紙や年金基金から「ファンド・マネージャー・オブ・ザ・イヤー」など数々の賞を受賞しています。



受賞式でのニュートン運用チーム

ニュートンの受賞歴

2013年

- ・ポートフォリオ・アドバイザー・アワード(英国)
- ・ポートフォリオ・アドバイザー・ゴールド・アワード(ニュートン・グローバル・ハイヤー・インカム・ファンド)
- ・ポートフォリオ・アドバイザー・プラチナ・アワード(ニュートン・アジアン・インカム・ファンド)
- ・フェリ・ファンド・アワード(ドイツ、オーストリア、スイス)
- ・トップ5パフォーマンス(ニュートン・アジアン・インカム・ファンド)

2015年

- ・グローバル・ファイナンス(英国)
- ・ワールド・ベスト・アセット・マネージャーズ・フォー・コーポレート 2015(ニュートン社)

*上記受賞歴はニュートンの過去一定期間の実績に対するものであり、ニュートンリアル・リターン戦略とは直接関係ありません。また、将来の運用成果等を保証または示唆するものではありません。



出所:ニュートン
*1 2015年9月末時点の為替レート(1米ドル=119.95円)で換算

ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン・コーポレーションについて

歴史と実績ある米国屈指の名門銀行の融合により誕生した世界最大級の総合金融機関

- ▶ 2007年7月1日に旧メロン・フィナンシャル・コーポレーションと旧ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・カンパニー・インクが合併してできた会社です。
- ▶ 両社はともに米国の金融業草創期から100年以上にわたる歴史を持ち、資産運用、アセット・サービスにおいてそれぞれ高い評価を得ています。
- ▶ 1980年代以降、BNYメロン・グループの資産運用部門は運用会社の設立および買収を通じて成長を続け、それぞれ専門性を持った複数の運用会社を傘下に有しています。

高い信用格付けと世界最大級の資産規模



BNYメロン
本社ビル

BNYメロン・グループ*2
(ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン・コーポレーション)
基本情報

- ▶ 格付け:スタンダード・アンド・プアーズ社 A+
ムーディーズ社 A1
- ▶ 総運用資産:約1.72兆米ドル*3(約207兆円*4)
- ▶ 総管理資産:約28.5兆米ドル(約3,421兆円*4)

*2 BNYメロン・グループは、BNYメロンを最終親会社とするグループの総称です。
*3 資産運用部門の数字はBNYメロン・グループ各社の運用資産を合算したものであり、ザ・ドレイファス・コーポレーション、BNYメロン・ウェルス・マネジメント及び対外的な運用資産を一部含みます。
*4 2015年9月末現在、1米ドル=119.95円で換算。
上写真:ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン・コーポレーション本社が入居する建物、場所:ニューヨーク

ファンドのリスク

当ファンドは、国内外の投資信託証券を主要投資対象としていますので、投資する投資信託証券の基準価額の変動により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。

預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

価格変動リスク	投資信託証券を通じて投資を行う株式、債券等の価格動向は、個々の企業の活動や国内および国際的な政治・経済情勢の影響を受けます。そのため、当ファンドの投資成果は、組入れ投資信託の価格変動があった場合、元本欠損を含む重大な損失が生じる場合があります。
金利変動リスク	債券等は、市場金利の変動により価格が変動します。一般に金利低下時には価格が上昇し、逆に金利上昇時には価格が下落する傾向があります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行の条件等により異なります。
信用リスク	株式、債券等の価格は、発行体の信用リスクを伴います。発行体に経営不安、財務状況の悪化等が生じた場合、またはそれらが予想される場合には、価格が下落するリスクがあります。
商品市況変動リスク	商品市況は、対象となる商品の需給、貿易動向、天候、商品産出地域の政治・経済情勢、疫病の発生等の要因により変動します。このため、商品の動向を表す各種商品指標も商品市況の変動の影響を受けます。
リート（不動産投信）の価格変動リスク	リートは、不動産市況の動向、保有不動産の状況や不動産の収益、財務内容の変動や市場金利の変動、リートに関する法制度の変更等により価格が変動します。これらの要因により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
カントリー・リスク	新興国に投資する場合、投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資金凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）などにより、運用上予期しない制約を受ける可能性があります。
流動性リスク	流動性リスクは、有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく希望する時期に希望する価格で売却することが不可能となることあるいは売り供給がなく希望する時期に希望する価格で購入することが不可能となること等のリスクのことをいいます。
デリバティブ取引のリスク	当ファンドの投資対象ファンドは、有価証券および金利関連のデリバティブに投資することがあります。デリバティブの運用には、ヘッジする商品とヘッジされるべき資産との間の相関性や流動性を欠く可能性、証拠金を積むことによるリスク等様々なリスクが伴います。実際の価格変動が見通しと異なった場合に、ファンドが損失を被るリスクを伴います。
為替変動リスク	為替変動リスクは、外国為替相場の変動により外貨建資産の価額が変動するリスクのことをいいます。 [Aコース（為替ヘッジあり）] 主要投資対象である米ドル建ての外国投資信託については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、外国投資信託の資産の内容によっては、米ドル以外の通貨と米ドルとの間で為替変動の影響を受ける場合があるなど、為替リスクを完全に排除できるものではありません。また、ヘッジコストの分だけ収益が低下することがあります。為替ヘッジの相手方が複数（ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンを含みますが、これに限りません。）となることがあります。 [Bコース（為替ヘッジなし）] 主要投資対象である米ドル建ての外国投資信託については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、当該通貨と円の為替変動の影響を受け、損失が生じる場合があります。当該資産の通貨に対して円高になった場合にはファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

クーリング・オフ	当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
収益分配金にかかる留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収益分配金は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。したがって、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間中におけるファンドの収益率を示すものではありません。 ・ 受益者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。 ・ 収益分配金は、ファンドの純資産から支払われますので、収益分配金の支払後の純資産は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に収益分配金の支払を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比較して下落することとなります。

お申込みメモ

当初信託設定日	平成25年3月22日
決算日	毎年3月17日(休業日の場合は翌営業日)
購入単位	販売会社が定める単位 収益分配金を再投資する場合は1口の整数倍とします。 ※「Aコース(為替ヘッジあり)」、「Bコース(為替ヘッジなし)」共に「一般コース」および「自動継続投資コース」があります。 詳しくは、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目より、申込みの販売会社でお支払いします。
購入・換金 申込不可日	ダブリンの取引所の休場日もしくはダブリンの銀行の休業日ならびに委託会社が別途定める日
申込締切時間	営業日の午後3時までには販売会社が受付けた分を当日の申込み分とします。
購入の申込期間	平成27年12月18日～平成28年6月16日 ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、委託会社の判断により、大口のご換金の場合には制限を設けさせていただく場合があります。
購入・換金申込受付 中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は、受益権の購入(スイッチングによる購入を含みます。)・換金の申込みの受け付けを中止することおよびすでに受付けた申込みの受け付けを取消す場合があります。
信託期間	平成35年3月17日まで ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、信託期間を延長することができます。
繰上償還	各ファンドそれぞれ受益権の総口数が10億口を下回るようになった場合等には、繰上償還することがあります。主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合には、償還となります。
収益分配	毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。 ※「自動継続投資コース」の場合、収益分配金は税引き後再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 少額投資非課税制度の適用について、詳しくは、販売会社までお問い合わせ下さい。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

ファンドの費用・税金

■ お客様にご負担いただく費用

[直接的にご負担いただく費用]

購入時手数料	3.24% (税抜 3.0%) を上限として販売会社が定める手数料率を、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。 ※自動継続投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、申込手数料はかかりません。	《当該手数料を対価とする役務の内容》 販売会社が、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。	受益者が、投資信託を解約する際に支払う費用のことで、長期に保有する受益者との公平性を確保するため、信託財産中に留保されるものです。

[信託財産で間接的にご負担いただく費用]

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に年率1.377% (税抜 1.275%) を乗じて得た額とします。 運用管理費用 (信託報酬) は、毎計算期間の最初の6ヵ月の終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。運用管理費用 (信託報酬) の配分は、以下のとおりです。	
合計	年率1.377% (税抜 1.275%)	《当該運用管理費用を対価とする役務の内容》
(委託会社)	年率0.450% (税抜)	信託財産の運用指図、目論見書・運用報告書の作成等
(販売会社)	年率0.800% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	年率0.025% (税抜)	信託財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行、信託財産の計算等
投資対象とする投資信託証券の管理報酬等	<ul style="list-style-type: none"> ・ B N Yメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (U S D Xクラス)・・・純資産総額に対して年率0.45%程度 ・ B N Yメロン・マネーポートフォリオ・ファンド (適格機関投資家専用)・・・純資産総額に対して年率0.0324% (税抜 0.03%) ~0.162% (税抜0.15%) 	
実質的な負担	年率1.827%程度 (概算) ※実際の実質的な負担は、投資信託証券の組入状況等に応じて変動します。	
その他費用・手数料	<p>監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。</p> <p>(注) この他に、投資対象とする投資信託証券においても、上記費用に類する費用がかかります。</p> <p>◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。</p>	

※詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) の「手続・手数料等」をご覧ください。

※手数料・費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

■ 委託会社、その他関係法人

委託会社: B N Yメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社 (信託財産の運用指図等)

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社 (ファンドの保管・管理業務等)

販売会社: (ファンドの募集・販売の取扱い等)

■ ご留意事項

- 当資料は、B N Yメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成した金商法第13条第5項に規定する目論見書以外のその他の資料です。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。
- 当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。
- 当資料中のグラフ、数値等は過去のものまたはシミュレーションの結果であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
- 当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。
- 当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

